

▶ 会社概要

会 社 名 株式会社東京システム技研 (略称TSL)
設 立 1971年2月22日
役 員 代表取締役社長 布施 靖行
資本金等 2億2千5百万円
従業員数 200名 (関係会社含む)
本 社 〒160-0023
東京都新宿区西新宿1丁目21番 明宝ビル3F
TEL 03-3342-2651 FAX 03-3348-4634
関連会社 株式会社ティー・エス・エル北陸
〒920-0869
石川県金沢市上堤町1番33号 アパ金沢ビル4F
TEL 076-262-3266 FAX 076-265-6226



▶ 沿革

1971年	2月	(株)東京システム技研設立。東京エレクトロン(株)ソフトウェア部門が(株)東京放送の協力を得て分離独立し、資本金500万円、横浜で発足
1977年	1月	EDA (Electrical Design Automation) 分野に参入。論理シミュレータ、回路シミュレータなどの輸入販売を開始
1982年	12月	(株)東京エレクトロンが所有していた全株式を取得し、完全独立
1993年	2月	EUCを強力にバックアップするミドルウェア「DBEAM」発表
2000年	3月	通産省SI企業認定
2003年	8月	金沢営業所を分離し100%出資子会社(株)ティー・エス・エル北陸を設立
2006年	2月	プライバシーマーク取得
2008年	11月	エコアクション21認証・登録
2009年	5月	大学向けGPS出席管理ソリューション (iPhoneアプリ) を発表
2012年	1月	ISO/IEC27001 (情報セキュリティマネジメントシステム) 認証取得
2013年	1月	ISO9001 (品質マネジメントシステム) 認証取得
2013年	3月	スマホアプリ「上野動物園ナビ」リリース
2016年	6月	Windows10、Excel 2016をサポートした「DBEAM V9.0」販売開始
2018年	7月	新サービス est! forecast (AI需要予測) リリース
2023年	4月	新サービス est!matchmaker (IT業界向け人材マッチング) リリース

採用に関するお問い合わせ

メールアドレス : saiyo@tsl.co.jp
フリーダイヤル : 0120-03-1289 (携帯電話可)

Tokyo Systems Laboratories, Inc.
株式会社 東京システム技研

未来創造 テクノロジー More Value

～ 基盤技術と最新テクノロジーの融合で、
確かな明日を築く ～

Tokyo Systems Laboratories, Inc.
Recruiting Guide

MISSION

TSLの Vision

これまで培った基盤技術とAI・IoT・X-TECHなど
最先端デジタルテクノロジーを融合し、
お客さまや社会にさまざまなソリューションを提供する
デジタルトランスフォーメーションカンパニーを目指します

TSLの Core Value

お客さまに期待以上の価値を提供することで、
“心を打つ満足(宝)”を届けます

TSLの Culture (社風)

技術を継承しつつ、
最新技術の習得によりITプロフェッショナルを育成し
一人ひとりが夢をもって働ける風土を目指します

TSLの Compliance (法令遵守)

常に社会性を重んじ、
透明性の高い健全な事業活動を行います

KEYWORD

1971年設立
(歴史ある企業)

ERPパッケージ
導入実績
150社以上

AI技術
(est! forecast)

クラウドとIoTが連動した
高い付加価値のサービスを提供

大手複合グループ企業からも
信頼される
ソリューション力

企画・設計・運用・改善・保守まで
ワンストップサービスが提供可能

幅広い技術領域

モバイル機器から
産業用機器向けの
各種組み込み機器開発力

BUSINESS

東京システム技研の事業



金融ソリューション

- 金融業界向け業務アプリケーション開発・運用保守



製造ソリューション

- ERPパッケージ(生産販売原価管理システム)
- 業務コンサルティング



AIソリューション

- 需要予測システム[est! forecast]の開発・導入サポート
- IT業界向け人材マッチングサービス[est!matchmaker]
販売開始
- AIの導入支援、AIを活用したシステムの構築・開発・保守



クラウド インテグレーション

- Webシステム、スマートデバイスを活用した開発
- クラウドサービスの開発・保守
- 大規模システムプロジェクトマネジメント

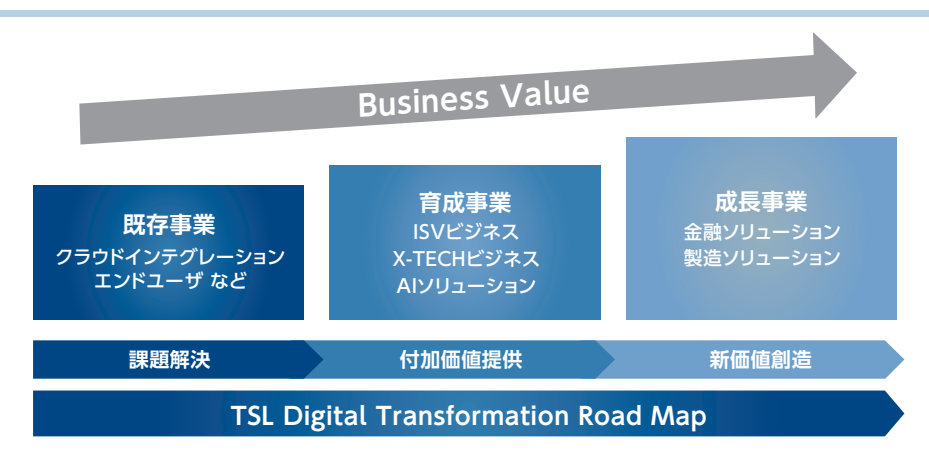


その他開発

- DX(デジタルトランスフォーメーション)コンサルティング
- X-TECH(ブロックチェーン・IoT・スマートデバイス・RPA)
ビジネス
- ISV(独立系ソフトウェアベンダー)ビジネス

※ブロックチェーン：分散型台帳技術
IoT：インターネットオブシングス
RPA：ロボティック・プロセス・オートメーション

事業戦略イメージ図



社員紹介

Q TSLを選んだ理由は？

学生時代から、将来は専門的なスキルを身につけ、自身を成長させられる仕事に就きたいと考えていました。IT業界であれば最先端の知識・スキルを身につけながら社会の役に立てると思い、業界を絞って就職活動を進めました。さまざまな企業を検討する中でTSLの会社説明会に参加した際、他社に比べ研修の期間・内容が充実している点に惹かれました。私自身は学生時代にプログラミングを経験していましたが、TSLでは文系出身者もたくさん活躍していると聞き、「研修を通して基礎から知識を身につけていく中で、着実に成長できそう」と感じたことから入社を決意しました。

Q やりがいや苦勞、忘れられない仕事は？

製造業向けパッケージの機能変更に関する開発案件です。修正が多く、難易度が高い案件でしたが、当時はまだ製造業向けパッケージや開発に関する知識が未熟だったため、悩むことに時間を費やしてしまいました。見かねた先輩から「一度に全てを理解しようとせず、一つずつ丁寧に進めたほうが上手くいくよ」とアドバイスをもらい、わからない部分は先輩に聞きながら一つずつ解消していった結果、無事納期までに完成させることができました。この経験から、初めて担当する案件こそ丁寧に向き合うことが重要であり、そうすることで次回から省略できる部分が見えてくるなど、結果的に作業効率が上がることを実感しました。

1日の スケジュール	9:40 出社 メールチェック・作業確認	10:00 打ち合わせ・ 開発作業	12:00 昼休み	13:00 打ち合わせ・ 開発作業	17:45 休憩	18:15 開発作業	19:00 退社
---------------	----------------------------	-------------------------	--------------	-------------------------	-------------	---------------	-------------



R・M

製造ソリューション部
2022年入社
創生科学科卒



T・K

金融ソリューション部
2002年入社
生産電子システム技術科卒

Q TSLを選んだ理由は？

就職に際しては「日本の製造業、特に半導体業界で働きたい」と考えていました。とはいえ、電気・電子を専攻したものの、生産管理に関わるCIM (Computer Integrated Manufacturing: コンピュータ統合生産) 分野に明るかったわけではありません。しかしTSLでは、入社後に未経験者にもプログラミング研修が用意されていることを知り、入社を決断しました。また、出身地の北陸にも関連会社があり、将来的には地元に戻って働く選択肢があることも、入社意欲を後押しする追い風となりました。

Q やりがいや苦勞、忘れられない仕事は？

入社時の希望通り、液晶TV工場の歩留まり管理や半導体製造管理をはじめ、電子基板CADソフトの機能開発や大手流通グループ企業の食品生産管理など、幅広いシステム案件に関わることができました。現在は金融系コールセンターのシステム刷新プロジェクトで、新サービスへの切り替え方式の検討や計画立案などを担当。後輩たちの育成にも努めています。ICT業界は進化の足が速く、常に新技術や手法の習得が求められます。日々新鮮な発見や学びがあり、モチベーションや挑戦心を燃やして仕事に励んでいます。

1日の スケジュール	9:30～10:00 出社 メールチェックおよび作業確認	10:00 打ち合わせ・開発作業	12:00 同僚とランチ	13:00 打ち合わせ・開発作業	19:00 退社
---------------	------------------------------------	---------------------	-----------------	---------------------	-------------

Q TSLを選んだ理由は？

就職活動に先立って「これからの時代をけん引するパワーは…」と業界研究を重ねた結果、ターゲットをICT業界に絞っていきました。もちろん、未知の世界に飛び込む不安がなかったわけではありません。しかし、TSLの会社説明会で、多くの先輩たちがシステム構築未経験者でも、充実した研修体制や実務経験を通じて、ICTプロフェッショナルとして活躍していることを知り、「ここなら頑張れそうだ」と確信しました。実際に入社してみて、半年の研修期間を終えてプロジェクトに配属されてから、日々さらに実践的な学びの機会に恵まれ、成長を実感しています。

Q やりがいや苦勞、忘れられない仕事は？

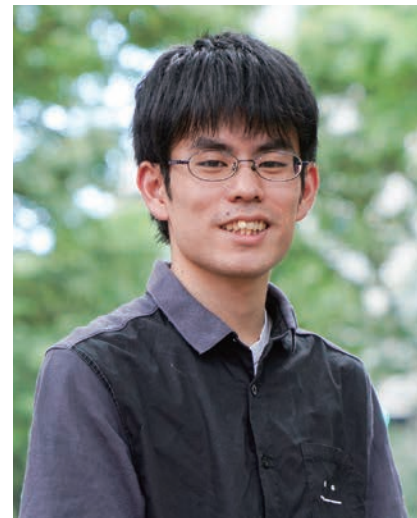
入社して1年ほどたった頃、クラウドのセキュリティ管理ツールに関するプロジェクトに参加しました。主にプログラミングを担当しましたが、研修で学んだJavaの知識はもとより、私にとっては初めての新しい言語、TypeScriptやhtmlが求められました。そこで、先輩たちの成果である既存ソースコードを調べたり、アドバイスをもらったり…。次第に、自分でもコードが作成できるようになりました。その後のテスト工程で、コードの不具合も発見されましたが、それまでの理解度の蓄積のおかげで自らバグを修復し、トラブルの芽を摘むことができました。

1日の スケジュール	9:30 出社 メールチェック	10:00 開発作業	12:00 社内でランチ・ 休憩	13:00 打ち合わせ・開発作業	17:45 休憩	18:15 開発作業	19:00 退社
---------------	-----------------------	---------------	------------------------	---------------------	-------------	---------------	-------------



R・G

デジタルソリューション部
2020年入社
経営学科卒



T・K

デジタルソリューション部
2023年入社
電気電子・システム情報卒

Q TSLを選んだ理由は？

大学で情報システムを専攻していたため、入社前からプログラミングの経験はありましたが、大学の研究と実務では求められる知識・スキルに乖離があると感じました。そこで、就職活動では研修内容の充実度を軸に企業を検討し、入社後半年間の研修があるTSLに魅力を感じました。入社後の研修では未経験者も多く、最初のうちこそ苦勞しているメンバーもいましたが、最終的には全員が専門知識を深め、無事履修することができました。私自身、現場に出てから研修で学んだ知識・スキルを活かせる場面も多く、改めて研修の重要性を実感しました。

Q やりがいや苦勞、忘れられない仕事は？

現在はAndroidアプリなどの開発業務に携わっています。毎月、納品があるため開発サイクルが短く、一つでもミスがあると納期に間に合わなくなる恐れがあります。そうした緊張感の中、コーディングからテストまでを担当し、無事に納品できた時には大きな達成感とやりがいがあります。以前、私のミスで開発業務に遅れが出てしまったことがありましたが、先輩にフォローしてもらうことで納期に間に合わせることができました。普段から周囲の先輩に何でも相談できるため、いざという時にも一人で抱え込むことなく、早い段階で問題を解決できるのだと実感しています。

1日の スケジュール	9:00 出社 メールチェック・タスクの確認	9:30 開発作業 打ち合わせ・コーディング	12:00 昼休み 同僚とランチ	13:00 開発作業 コーディング	17:45 退社
---------------	------------------------------	------------------------------	------------------------	-------------------------	-------------



人事スローガン

“WORK HAPPINESS”

- 働くことが楽しくなる会社を創ります -

社員が心身ともに健康で楽しく働けるよう、
納得性・満足度の高い人事制度や
最高のパフォーマンスが発揮できる環境を創り続けています。



TRAINING SYSTEM

研修制度

▶ 新入社員研修

新入社員研修では、最初の2カ月間は集合研修として、コンピューター未経験の方でも理解できるようコンピューターについて一から学び、ハードウェア・ソフトウェアそれぞれについて研修を行うと同時に、SEとして最も必要なコミュニケーション力(聞く・話す・読む・書く)に重点をおいた研修を実施します。その後、配属された部門ごとの研修へと移行していきます。

1年間の研修体制 (月)

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4~
入社		部配属										
A. 集合研修												
		B. 部門研修										
						C. 初級技術者研修						
						D. OJT						

▶ OJT

期間は1年ですが個々のレベルに合わせて数年かけて行うこともあります。実際のプロジェクトに関わりながら成長を実感していただきます。また並行して基礎知識習得のため、講義も受けていただきます。データベースやネットワーク、セキュリティに関する技術など、エンジニアにとって必須となる知識がテーマです。

▶ その他の研修

新入社員研修後も先輩社員として後輩を迎え入れるための研修や、数年スキルを積み重ねた後にはリーダーとなるための研修、ほかにも今、話題のAI(人工知能)に関する中級技術者研修、通信教育制度などがあり、適性や自分のキャリアプランに合わせてスキルアップできる研修が充実しています。また、会社で推奨する資格を取得すると最大20万円の報奨金が支給されます。

